

# KOSEN の窓

昨年3月、長年取り組

んできた大宰府時代の菅原道真公の漢詩集3冊目の注釈書を出版することができました。この著は4人からなる「道真梅の会」会員との共著です。

今回は、この会の発足事情と現況について紹介させていただきます。

長年にわたり、私の研究テーマである「大宰府時代の菅原道真の漢詩文の研究」成果の一端の公表の場として、「大牟田市

民大学講座」という公開「道真梅の会」全講座の一つを担当する機会を頂いています。講演内容を興味を抱いてもらった。この後、大牟田・荒尾市に立ち上げたのが、この「道真梅の会」は会員のお一人の明高専元電気工学科教授の須藤修一氏を会長に、

## 大牟田市民大学ゼミ「道真梅の会」の紹介

有明高専 一般教育科教授

焼山 広志

荒川美枝子・井原和世・田中陽子・野田了介・諸田素子諸氏6人で発足しました。今から12年前のことになります。

その会の発足から2年がかりでまとめたものが、共著の1冊目「絃意

「菅家後集」全注釈(一)を2冊目の刊行物として公にする幸運に恵まれました。そして平成29年3月、長編作品「讀樂天北窓三友詩」を収める3冊目の出版に行き着いていま

機に、12年間続けてきた「道真梅の会」も会員諸氏の高齢化他、諸般の事情により3月末をもって閉会・解散をすることになりました。

地域連携の一環として継続してきた大牟田市民大学講座ゼミの受講者有志による菅原道真の漢詩講読会の活動は、有明高専の地域貢献の一例にすぎないかもしれません。こうした事例を萌芽させ

たことに大きな意味があると思っています。つまり、新たに「市民大学ゼミ」としてより高度の市民の学習の成果が結実したことになりま



道真梅の会

有明高専